

中岳



2004 歯の祭典「歯ッピースマイル」
ビアパーティー



目 次

巻頭言.....合澤 康生副会長.....	1
2004歯の祭典.....	2
よい歯のピエロショー.....	4
歯の衛生週間 各コーナー集計表.....	6
平成16年度前期歯磨き巡回指導.....	10
第28回市歯科医師会親睦大会ビアパーティー.....	12
スタッフレベルアップセミナー.....	14
平成16年度熊本市学校保健功労者表彰.....	15
国立病院機構熊本医療センター連絡協議会.....	16
第4回九州八市歯科医師会専務理事会議.....	17
Study「補綴主導型インプラント治療」.....山部 英則.....	18
長寿の里 文献集.....田中 浩一.....	24
新人です よろしくお願ひします.....	31
スポーツの広場.....	32
会務報告.....	33
編集後記	

表紙のことば

日独友好の一夜

「熊本国際青少年音楽フェスティバル2004」の一環で、来熊していたドイツアウグスブルグのオテブレルバレエ・ダンスフォーラムの一行を迎えて熊本バレエ研究所のみなさんが、日ごろの食事制限を忘れて高橋稲荷の庭園でバーベキューパーティーを催しました。写真は余興のひとつ。親父有志の面々が輪になって歌っています。歌は世界の共通語、ビートルズです。浴衣に団扇、花火で遊んだり絵に描いたような日本の暑い夏の一晩でした。ちなみにむこうの親父の一人が、熊本の夏はいつもこんなに暑いのか？と聞いてきたので、暑いのは暑いけど、今年は特別暑いよと答えた（つもりの）私です。

(T・F)

皆で考えたい学校歯科保健



合澤 康生副会長

熊本市歯科医師会では随分前から幼稚園、小学校に歯みがき巡回指導を行って来ました。福岡市にある民間会社の歯科衛生士さんが来て、市体育保健課の先生方と共に学校を回って行っていました。一緒に話を聞いているとなかなか面白い内容もありました。しかし現在は時代の流れでしょうか、民間会社の閉鎖により、その方法はできなくなりました。現在は衛生士会との協力で行なわれています。しかし、本来これは学校歯科医が行う事ではないでしょうか。「私の学校は校医の先生の指導が充分ですので、歯みがき巡回指導は必要ありません」とお断りをする学校もあると聞きます。学校歯科医の先生と学校との交流が完璧に行われている様に思えます。

学校歯科医の仕事のひとつに定期学校歯科検診があります。毎年4～6月に学校で行う訳ですが、常に悩まされている事にその判定の基準の問題があります。所謂、CとCO、GとGOの判断です。学校歯科検診中に、その判定に悩む時、すぐに頭に浮かぶのが、去年はどの様になっているか、という事です。去年の判定と今年の判定が異なるとまずいのではないかと、という事です。そういう時、去年の判定をみて今年も同じ判定に合わせるという先生もいます。今年は今年と割り切って、去年とは異なるかも知れないが、現在見た目で判定される先生もいます。個人的には、昨年と判定が異なる由、指摘されれば、学校歯科医を辞退するしかないと思っています。

学校歯科医の今一つの問題として、その精度があります。同一人物の判定が見る人によって異なれば、かえって混乱をまねく結果になりかねません。出来るだけ判定の差が出ない様にする為には、スライド又は写真を用いて症例の説明をすることが良いと思います。

私はこの2つの問題が、学校歯科検診の永遠の課題だと思います。誰もが思うが口に出さない、いや出せない問題だと思います。

学校歯科保健研修会で福歯大の教授を招いて、スポーツ歯学の講演会が行われた時に、歯牙外傷に関する質問で、養護教諭の方から「どこの歯医者さんに行っても、その様な治療がしてもらえますか」というのがありました。その時、いかに学校歯科医の研修が必要かを痛感させられました。学校歯科保健研修会は、学校歯科医側と学校側との話し合いで、その問題点を解決して、少しでも児童、生徒の歯・口の健康管理に役立てる事にあると思います。その為の受け皿として学校歯科医研修会があると思いますが、なかなか参加者が少なく思う様な成果が得られないのも事実の様な気がします。

学校歯科検診は、児童、生徒の歯・口の健康を守る為に、重要な役割をはたしていると思います。戦後のむし歯だらけの子供から、現在12才児DMF歯数3.0以下になったのは、決してこれだけではないかも知れませんが、学校歯科検診の役割は大なるものがあつたと信ずるものです。



2004

6月6日



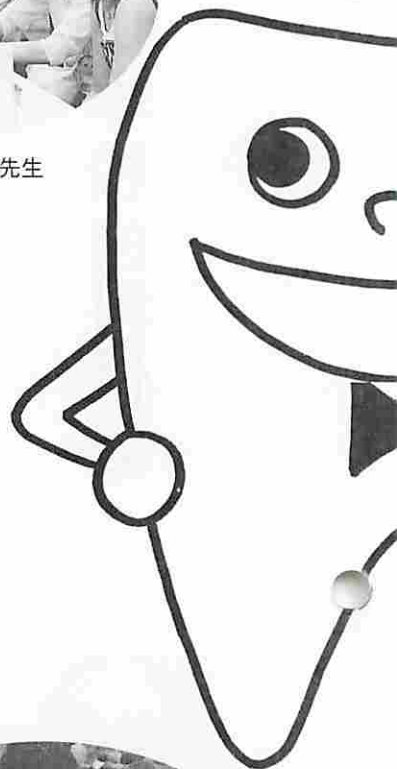
何の話ですか？ O先生

すがすがしい朝を迎えた6月6日曜日、今年も恒例となっている「2004歯の祭典」が、熊本市上通りアーケードにて行われた。

このイベントは歯の衛生に関する正しい知識の普及を図り、歯科疾患の早期発見、早期治療、予防措置を徹底することにより、市民の健康保持増進に寄与することを目的として行われ、熊本県歯科衛生士会熊本市支部および熊本市歯科技工士会の共催を得て熊本市歯科医師会が主催したものである。

今年は、「歯ッピースマイル！」と題し、オープニングセレモニーを、今年から紅蘭亭パビリオンに移し、午前10時より、古賀明会長の主催者挨拶で開会した。また熊本市長幸山政史氏（代読田中亮子健康福祉局局長）と熊本市議会議長落水清弘氏から祝辞をいただき、同議員江

歯
ッ
ピ
ー

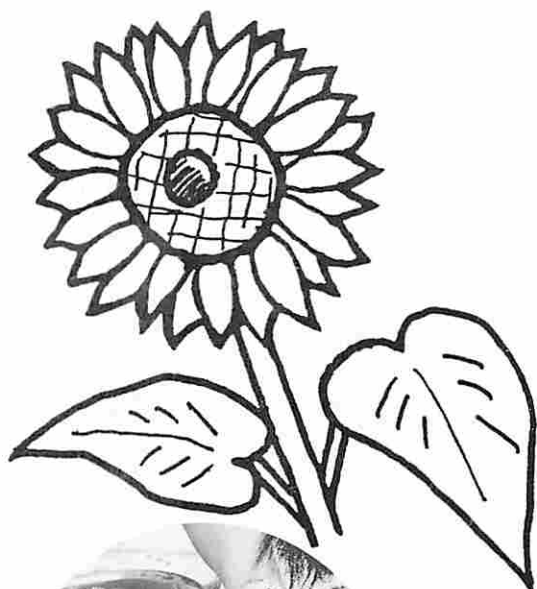


テープカットお疲れさまです



歯の祭典

11:00~16:00



藤正行氏、
荒木つみ
氏、熊本県
歯科衛生士
会熊本市支
部植 由紀
子支部長、
熊本市歯科

技工士会玉置泰伸会長に加
わっていただき、テープカッ
トにてセレモニーを終了し
た。

午前11時より、各相談コー
ナーに分かれ、市民の様々
な相談に応じた。さわやか
な笑顔の衛生士学院2年生
の協力もあり、各コーナー
すぐに行列ができ大盛況で
あった。ちなみに、アンケー



トコーナー2347名、何でも相談コーナー66名、
矯正相談コーナー16名、小児歯科コーナー58名、
歯科衛生士会コーナー242名、在宅訪問歯科コー
ナー16名、口臭検知器コーナー51名という結果
でした。集計では、去年より約100名上回って
いる状況です。通りを行きかう人の中には、足
を止め、疾患別の展示パネルを熱心に見ている
方もおられ、市民の歯、口腔に対する意識は高
まっているように思われます。

(公衆衛生 井野 健)



よい歯の



5月29日（土）熊本市子ども文化会館において例年通りよい歯のピエロショーが行われました。

このショーには373名の参加者がありました。これと同時に公衆衛生委員会8名により無料歯科健診を行い、268名の来場者がありました。

このイベントは熊本市が主催するもので我々が協力するという形態をとっており、各保健福祉センターの歯科衛生士が位相差顕微鏡により口腔内細菌を見せてあげたり、ブラッシング指導、フッ素塗布をしております。また、8020推進員の方々も来られ、受付等をしておられました。

健診者はほとんどが子供で、矯正について相談される方が年々増加している様に思われます。逆にカリエスはあまりなく年々市民のデンタルIQが高まってきている様に感じられます。

最後に健診を受けられた方の意見を書いております。

- ・ 歯医者さんに一度子どもを連れて行こうと思っていたので、無料で見てくれるのがすごい助かりました。（幼児の保護者）
- ・ フッ素塗布は助かります。他の月は保健福祉



ピエロショー

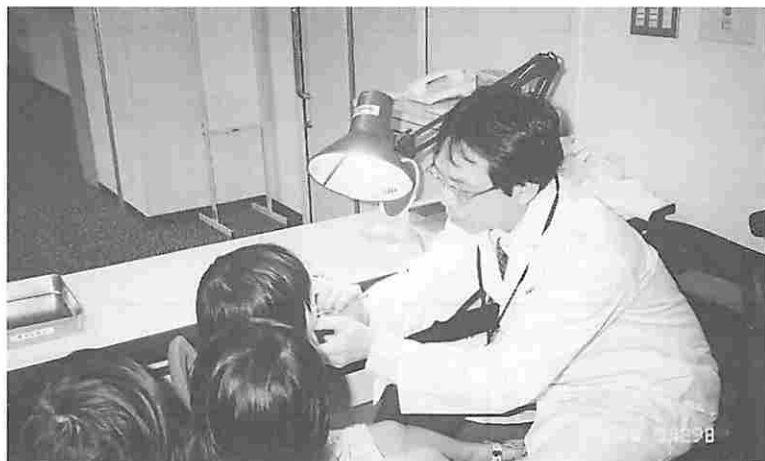


センターでやってます。

(幼児の保護者)

- ・矯正について悩んでいましたが先生にアドバイスいただけて安心しました。(幼児の保護者)
- ・今日は楽しかったです。私自身の事で気になることがあったので相談できて良かったです。(30代)
- ・親子で歯のことにについて考える良い機会になりとても良いイベントだと思います。(30代)
- ・8020推進員で参加しました。次の機会にも出席したいと思います。(60代)
- ・かねてきれいにしているとあっておりましたが、日頃の私のみがきがズサンだったと、びっくりと同時に勉強になりました。(70代)

(公衆衛生 与儀実彦)



歯の衛生週間・各コーナー集計表

平成16年度 歯の衛生週間 上通イベント来場者数

	コ ー ナ ー 名	来場者数
1	アンケートコーナー	2,347 名
2	歯の何でも相談コーナー（口腔外科相談コーナー含）	66 名
3	矯正相談コーナー	16 名
4	小児歯科コーナー	58 名
5	歯科衛生士会コーナー	242 名
6	在宅訪問歯科コーナー	16 名
7	口臭検知器コーナー	51 名
8	歯科技工士会コーナー	267 名 (石膏人形配布)
9	熊本歯科衛生士専門学校コーナー	14 名

平成16年度 歯の衛生週間 上通イベント実施結果

1. アンケート回収数 2,347名

2. 歯の何でも相談コーナー
(口腔外科相談コーナー含む) 66名

相談内容	年齢	年 齢 別 内 訳								
	10才未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	不明	合計
1. 歯周病			1				1	1		3
2. 色調異常							1	1		2
3. 歯列咬合			1		1					2
4. 顎関節症			2							2
5. 義歯						2	2	2		6
6. 矯正						1				1
7. 智歯			7				1			8
8. 口臭								1		1
9. ブラッシング指導										0
10. 抜歯								1		1
11. むし歯	4	1	7	4		1		2		19
12. 補綴物			2	1	1	1	1	2		8
13. インプラント						1				1
14. キシリトール										0
15. その他	2		4	2	1	2		1		12
合 計	6	1	24	7	3	8	6	11	0	66

3. 矯正相談コーナー

16名

相談内容	年 齢 別 内 訳									
	10才未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	不明	合計
1. 上顎前突		2	2	1						5
2. 叢生	2	3	2							7
3. 下顎前突										0
4. 開咬										0
5. 交叉咬合			1							1
6. その他	1		1	1						3
合 計	3	5	6	2	0	0	0	0	0	16

※その他（TMJ、埋伏歯）

4. 小児歯科コーナー

58名

相談内容	年 齢											合計
	1才未満	1～2才	2～3才	3～4才	4～5才	5～6才	6～7才	7～8才	8～9才	9～10才	10才以上	
1. う蝕			1	1	1	1	2		2			8
2. フッ素	1	3	3		1	3					1	12
3. 萌出時期							3					3
4. 歯列咬合	2	1				1	1	4	2		1	12
5. 悪習慣		2				1		1				4
6. 色調異常												0
7. 歯磨き方法	2	1	1	2		2					1	9
8. その他		1		3	3	2	1					10
9. 不明												0
合 計	5	8	5	6	5	10	7	5	4	0	3	58

5. 歯科衛生士会コーナー

242名

指導内容	年 齢 別 内 訳									
	10才未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. ブラッシング方法	11	11	2	7	4	1	3			39
2. 歯間ブラシ			1	1		2				4
3. デンタルフロス						1				1
4. フッ素					1					1
5. 仕上げ磨き				1						1
6. 食生活・おやつ			1							1
7. 義歯管理							1			1
8. その他		3								3
9. 位相差顕微鏡	9	5	3	3	1		4	4		29
10. 唾液pHテスト	26	23	26	26	14	17	21	8	1	162
合 計	46	42	33	38	20	21	29	12	1	242

性別	年 齢 別 内 訳									
	10才未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 男性	16	3	13	6	7	5	5	4		59
2. 女性	30	39	20	32	13	16	24	8	1	183
合 計	46	42	33	38	20	21	29	12	1	242

6. 歯科技工士会コーナー

267名 石膏模型配布

相談者 14名 (入れ歯・インプラント・マウスピース等)

7. 熊本歯科衛生士専門学院コーナー 14名

8. 在宅訪問歯科コーナー

16名

相談内容	年 齢 別 内 訳									
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	合計
1. 在宅訪問歯科				1						1
2. 口腔ケア		1		2	1		1			5
3. 口腔ケア用品				1	4	1				6
4. 電動歯ブラシ・ 給吸ブラシ		1			1					2
5. 歯間ブラシ										0
6. 口腔乾燥・舌苔				1	1					2
7. 障害児の歯科治療										0
合 計	0	2	0	5	7	1	1	0	0	16

性別	年 齢 別 内 訳									
	10才未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 男性					1		1			2
2. 女性			2		4	7		1		14
合 計	0	0	2	0	5	7	1	1	0	16

9. 口臭検知器コーナー

51名

本コーナーにおいては、例年と同じく測定希望者が多数訪れた。

概して、測定希望者は自身の歯の健康状態に高い関心を持っておられ、定期的に歯科健診を受けるなど、きちんと管理がなされていたのが印象的であった。したがって、正常範囲内の数値を示す方がほとんどで、簡単な口腔衛生指導を行う例が多かった。

前年に比して、測定者数が半数以下であった理由は、市歯科医師会所有の測定器（ハリメーター）のチューブ接続部が故障し、使用不能となったことが挙げられる。2台を用いて測定を行う予定であったが、結果として、業者が持参した1台での測定を余儀なくされた。本測定器は新型のもので、より正確な数値を検出できる利点はあるが、歯科医師会所有の機器と異なり、連続して測定を行うことができない。（最低3分間のウォームアップが必要）

多くの方をお待たせし、不本意ながら全ての希望者を測定することができなかった。今後、測定前に機器の慎重な点検を行う必要性を痛感した。
(公衆衛生委員会)

家庭環境をみすえた指導を

—平成16年度小学校歯みがき巡回指導—



平成16年度小学校歯みがき巡回指導（前期）について報告いたします。

今回は、6月16日（水）から7月2日（金）まで、小学校3年生を対象として7校及びその中から障害児クラス（第75条学級）を1クラス（6校）含めて歯科保健指導を行いました。

指導内容といたしましては、例年のことながら自分の歯の染め出しを行い、鏡をみて日頃の歯磨きで、磨き残している箇所を本人に確認させるという方法を取り、それをチェックシートに記入させました。

又、学校側より大変好評だったのが、歯科衛生士の歯磨き指導による手作りの絵やボード、虫歯菌をイメージした人形劇など、どれも大変わかりやすく面白いとの事、校長先生はじめ養護の先生方にもお褒めの言葉をいただきました。児童たちも積極的に参加し、質問なども多数あり、楽しくそして有意義な時間を過ごす

事が出来たのではないかと考えております。

学校側の歯の指導に関しましても、大変熱心に取り組んでいただいております。学校歯科医の先生の冒頭のあいさつでも、生徒ひとりひとりがまるでご自分のお子さんでもあるかのように、歯の状態をよくご存知でした。

指導終了後、校長先生、学校歯科医の先生とお話をいたしました時にも、健康について次のように力説されておりました。

“健康（歯の疾患を含めて）は、家庭環境に大きく左右されるため、ただ表面上の指導だけではなく、バックグラウンドを見据えた指導をやっていききたい。”

最後に今回ご協力いただきました市教育委員会並びに学校関係の先生方、歯科衛生士のみなさんどうもありがとうございました。

こころよりお礼申し上げます。

（学校歯科 清水陸博）



平成16年度小学校歯みがき巡回指導（前期）実施表

実施対象者 小学3年生・75条学級

実施期間 平成16年6月～7月

	6月16日(水)	6月22日(火)	6月23日(水)	6月25日(金)	6月29日(火)	6月30日(水)	7月2日(金)
学校名	田迎南	中緑(複)	川上	西里	河内	春竹	北部東
時間目	5	3	3・4	5	5	5	2・3
時間	14:00～14:45	10:45～11:30	10:50～11:35 11:45～12:30	14:05～14:50	14:05～14:50	14:05～14:50	9:35～10:20 10:35～11:20
学級数	2	1	4	2	1	3	3
児童数	68名	12名	123名	74名	39名	90名	110名
第75条学級数	1	なし	1	1	1	1	2
児童数	3		7	2	2	2	6
学校歯科委員	西 正浩	斉木 智章	井手 裕二	前田 明浩	澤木 孝明	福本 聡子	清水 睦博
学校歯科医	村上 辰郎	河野 哲朗	井上 熊男	川元 直子	安田 直幸	柿原 訓	井上 熊男



04 06 30

第28回 熊本市

熊本市歯科医師会ビアパーティー



ま、まさか……



第28回熊本市歯科医師会ビアパーティーが、7月10日（土）午後6時30分より、レオナアイランダーズの涼しげなハワイアン演奏が流れるなか、交通センターホテルで開催されました。

まず、古賀明会長より「最近はずいぶん暗い話題が多い歯科界だが、今日はそういう事を忘れて大いに飲んでウサを嗜らしましょう」とご挨拶を頂き、また、翌日参議院選挙投票日を控え非常に忙しいなか、自民党の木村仁候補の良子夫人にもお見え頂きご挨拶をいただきました。（木村先生 ご当選おめでとうございます）また、来賓として堤直文県歯会長、菅原洋副会長、浦田健二専務理事をお招きしており、堤先生からご祝辞をいただきました。続いて、関



歯科医師会 親睦大会

夏だ！ビールだ！

今年も飲むぞ！

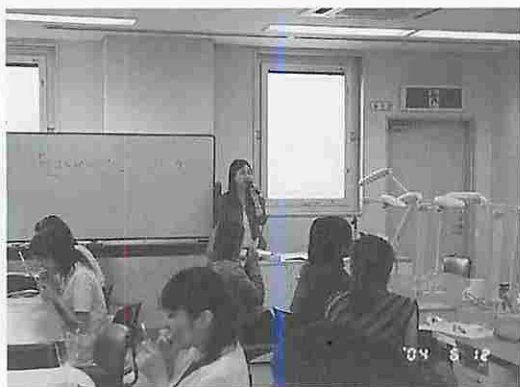


剛一前会長による乾杯の御発声の後、開宴となり、冷たいビールを喉を鳴らしながら胃へ送り込み、おいしい料理に舌鼓をうちながら、夏気分をおおいに味わいました。また、今年も昨年に引き続きフラスタジオ『レイナニ』の皆様にハワイアンダンスを披露していただき、レオナアイランダーズのすばらしい演奏とともに心はハワイへといざなわれ、ほろ酔い気分の先生がちらほら見受けられました。その後恒例のビンゴゲームへと移り、リーチ、ビンゴの掛け声よろしく、景品目当てに真剣なまなざしで興奮されている先生も多々いらっしゃいました。

最後に合澤康生副会長の万歳三唱で閉めていただき閉会となりました。ご参加いただいた先生方ありがとうございました。また、来年もよろしく願います。（厚生 松田 恵）



賑やかにスタッフレベルアップセミナー開催



6月12日（土）午後3時、株式会社ジーシーより歯科衛生士・寺川舞氏を講師に招き、熊本県歯科衛生士学院実習室にてスタッフレベルアップセミナーが開催された。土曜日の午後、診療で疲れているにもかかわらず多数の出席があった。

藤波好文副会長の挨拶の後、二つのグループに分かれ、印象材とセメントについて、講義と実習が行われた。

ひとつのグループは、弾性印象材、非弾性印象材の分類と、各種印象材の主成分ならびに用途について講義があった。そのあと顎模型を用いて、実際にアルジネート印象材を練和し印象採得する実習等が行われた。

もうひとつのグループは、各種セメントの主成分ならびに用途、各種充填材の主成分およびその使い方について講義があった。そのあと各種セメントを用いて、実際に練和し、練和時間、標準貼度等を確かめる実習が行われた。

次に全体で、ブラッシングの基本「毛先磨き」

について、ブラッシングの目的、ブラッシングの方法について講義があった。そのあとペアになってえんぴつを用い、歯面にマーキング、正しい力加減、角度を確認する実習があった。最後に、歯ブラシの選択、使い易い歯ブラシ、ブラッシング指導法、2度染め方式、チャート記録方式、ワンポイントレッスン方式、ポイントを選んで指導する等、具体的な例を用いた講義があった。



最後に田中弥興理事の労いの挨拶があり、無事スタッフレベルアップセミナーは終了した。新人のスタッフはもちろん、ベテランのスタッフにも基本を確認するに十分な内容であった。

（医療管理 徳丸恵介）

平成16年度熊本市学校保健功労者表彰

6月3日(木) 1時30分より産文会館にて、第25回熊本市学校保健会総会・合同研修会が催された。

総会の中で表記の功労者表彰が行われ、本会から渡辺猛士、伊東隆利、何俊二郎、田島貞子、安田直幸、各先生方が受賞されました。(写真：左から) おめでとうございます。

また、研修会では「児童虐待防止のネットワークを広げよう」というテーマのもと、市健康福祉局子育て支援課・古賀千栄子氏及び熊本学園大学・山崎史郎教授の2氏による講演がなされた。



(広報 古川 猛士)

お勧めの1冊

「雪沼とその周辺」

堀江敏幸

「東京湾景」

吉田修一

「私が語りはじめた彼は」

三浦しをん

附「ねこのぼば」

畠中 恵

読書の秋。静かな秋の夜長に心にしみこむ小説を。

堀江先生の物語、私は日野啓三亡き後、乾いた抒情(ってなに?などとつっこまないように)の書き手として、新刊が出るたび手にしています。雪沼という町に住む人々の、そうであるだろう日常が淡淡とした文章で表現されます。「いつか王子駅で」もいい本でした。

TVドラマ化された吉田氏のこれ。TVの方はフォーマットを借りただけのまったくの別物です。ザイニチとか血(縁)とかのしがらみはいっさい省いた、都会で生活している若者のア・ボーイ・ミーツ・ア・ガール、純粋のラブストーリーです。仲間ちゃんは好きですが、物語としては小説の方が断然勝てると思います。芥川賞受賞作「パークライフ」もぜひ。

三浦氏のものは、愛の断絶の物語。大学教授のラブアフェアーをもとに、夫婦、家族、友人といった関係が崩壊をたどっていく。なんともすさまじいお話。深い絶望感がただよってます。この年になると、その先の希望の光が見えてこないのがつらいところ。

おまけの畠中氏は私が「わかだんなシリーズ」と勝手に呼んでいるものの3作目。すぐ寝込んでしまう若旦那と世話焼きの妖怪たちの謎解きもご愛嬌です。

国立病院機構熊本医療センターとの相互協力を

—国立病院機構熊本医療センターとの協議会—

7月13日（火）県歯会館2階第1会議室にて開催



7月13日（火）県歯会館2階第1会議室において、国立病院機構熊本医療センターの宮崎久義院長、池井聰副院長、河野文夫臨床研究部長、高橋毅救急医療センター医長、児玉紈昭歯科口腔外科医長の各先生方に来館いただき、協議会を開催いたしました。本会からは、古賀会長、藤波副会長、矢毛石専務、田中理事、尾上医療管理委員長が出席いたしました。

まず宮崎院長より日頃本会の開放型病院への協力に対するお礼と新病院建設の進み具合、また独立行政法人として機構改革が行われたが独自性を打ち出せるなどメリットも多く地域密着型の病院をみ差す旨の、そして古賀会長からは救急救命医療に関する研修会や会員の登録医などこれからも開放型への参加を勧めていくという挨拶があり、矢毛石専務の司会で協議を行いました。

1. 開放型病院連絡会について

9月1日（水）に開催されます連絡会は、国立病院機構熊本医療センターとして第1回目となります。パレオホールにおいて6時30分より開催され、今回も本会から金本和久先生がパネリストとして参加される予定です。総会後の懇親会は医科からの参加者や病院職員との交流会となります。国立病院は厚生労働省に直結した機構で、歯科の問題を直接伝えることができると言う事からも、大変有意義ですので多数の参加をお願いします。

2. 歯科救急医療について

2004年1～6月の紹介救急患者は7名で5名が医科からで2名が抜歯後の急患だそ

うです。救急救命センターの受診歯科患者は43名。救急車来院は12名で外傷が11名との報告がありました。なお、紹介状が無い場合3,150円の特別療養費がかかります。

3. 障害者歯科治療について

病院としての受け入れ態勢は出来ているがまだ依頼が無いとの報告でした。それと歯科紹介率が少し伸びてきているが目標の30%にもう一息との事。

4. 救急蘇生講習会について〔11月11日（木）〕

従来どおり、麻酔科の医師による蘇生法の講演ならびに実習と例年評判が良い静脈路の確保、気管内挿管、なども予定している。また一般の方でも使用が可能になった除組動器による心臓蘇生装置の説明をスタッフ向けにお願いした。

5. その他

国立病院機構熊本医療センターへ、「歯科訪問診療の施設基準に係わる届出」に関して緊急時の連携保険医療機関としての協力に対し、感謝の意を表しました。

国立病院機構熊本医療センターの登録医は本会会員にとってメリットの多い制度と思います。登録やそれに伴う費用など無料ですし、随時申し込み〔国立病院機構熊本医療センター庶務課096-353-6501〕が出来ますので、いざという時の為に、加入をお願いします。電話での申し込みもできます。また熊本市以外の先生方にも紹介していけばより全体の安心にも寄与できるのではとの意見もありました。

（医療管理 尾上 宏）

ところ変れど悩みは同じ

—九州八市歯科医師会第4回専務理事会議—

8月7日(土) 県歯会館2階第1会議室にて開催



今年は本会が担当となり、午後4時から予定であったが全員揃った3時50分より会議が始まった。合沢副会長によるよろしくご検討をお願いするという挨拶のあと早速協議に入った。

今回提出協議題は14題であったが、宮崎市歯会より当日2題の追加がなされた。低迷する日本経済の中で、歯科界も光明が見出せない現在、組織の見直し、役員、委員の報酬額、行政との連携並びに委託事業の見直しへの対応、市町村合併に伴う歯科医師会合併について、会としての休日歯科診療、障害者歯科診療、訪問歯科診療、節目健診などへの取り組み、医療相談窓口の設置などなどについて協議、検討され、あつという間に予定の6時30分を過ぎた。

八つの都市の同一趣旨に基づく団体からは、同じような悩みが表出される一方、まったく異なる展開や組織運営を行うところがあることもわかり大変勉強になった。

本日の協議題は各市歯会に持ち帰り、10月9日(土)に行われる第23回九州八市歯科医師会役員連絡協議会においてさらに検討されることになる。

会議終了後、場所を変えて懇親会となり、私個人的には各市で活躍している(?)同級生の消息などお聞きして、だれその顔をみたくなったりもいたしました。(広報 古川猛士)

九州八市歯科医師会第4回専務理事会議提出協議題

会 名	提 出 協 議 題
鹿児島市 歯科医師会	1. 機構改革について 2. 積立金特別会計の使用目的について
宮崎市郡 東諸県郡 歯科医師会	1. 宮崎市においては、小学校における集団フッ素洗口を推進すべく準備を進めています。他地区の状況を教えていただきたい。 2. 居宅療養管理指導費について
南部地区 歯科医師会	1. 学校保健法の一部改正に伴う関係教育委員会との対応について
福岡市 歯科医師会	なし
大分市 歯科医師会	1. 九州八市歯科医師会間における各種の送付文書並びに返信文書の電子メール化について
佐賀市 歯科医師会	1. 地方交付税交付金の減額に伴う事業への影響について 2. 市町村合併に伴う、歯科医師会合併の進展状況について 3. 休日歯科の運営状況について
長崎市 歯科医師会	1. 健康増進法を歯科で生かすために 2. 節目健診について 3. 訪問歯科診療における各地区歯科医師会の対応について 4. 医療安全支援センターの設置について 5. 役員・委員の報酬額と交通費の支給の有無について
熊本市 歯科医師会	なし

九州八市歯科医師会第4回専務理事会議 出席者名簿

会 名	役 職	氏 名
鹿児島市歯科医師会	専務理事	榎 木 隆 一
宮崎市郡東諸県郡歯科医師会	専務理事	杉 尾 隆 夫
南部地区歯科医師会	専務理事	玉 城 均
福岡市歯科医師会	常務理事	西 原 勉 彦
大分市歯科医師会	専務理事	菅 野 孝 一
佐賀市歯科医師会	専務理事	前 山 茂 樹
長崎市歯科医師会	専務理事	松 谷 和 彦
熊本市歯科医師会	専務理事	矢 毛 石 豊

オブザーバー

熊本市歯科医師会 常務理事	蔵 田 幸 一
〃 常務理事	清 村 正 弥
〃 理事(広報)	古 川 猛 士

Restoration-driven implant placementの 概念に基づいたインプラント修復治療

山部 英則

以前のように解剖学的条件に合わせてインプラントを植立し、その後に補綴処置を行ってきた術式から、補綴治療としての目的を治療計画の中心として術式を構築することが重要かつ不可欠と指摘され、“Restoration-driven implant Placement”と呼称されている。

日本語では“補綴主導型インプラント治療”と訳される。

この概念はGBRによって骨の増大を行うことが可能となってきたことを背景として1995年にGarber, Belserらによって提唱された。この概念は術前に歯冠修復治療として理想的な上部構造および周囲組織を設定し、それを目標として残存歯およびインプラント植立予定部位の診査・診断に基づいて、インプラント植立位置とインプラントの種類、長さや直径等を決定し、また硬・軟組織の造成や歯周形成外科の必要性や方法などの治療計画を立案することである。

そして、治療目的に合った上部構造を装着し、術後管理することである。

以下、実際に症例を提示する。

患者：78歳 男性

初診日：H14. 8. 1

主訴：上顎義歯破折、インプラント希望

初診時所見：

残存歯は 8 ⑦ 6 ⑤ ④ 3

3 2 1 | 1 2 3 4 5 ですれ違い咬合を呈していた

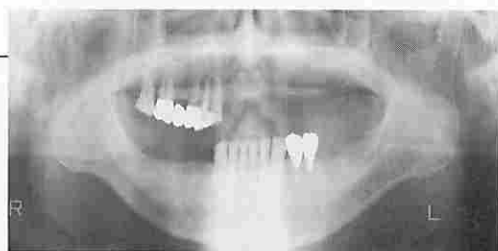
欠損部の

2 1 | 1 2 3 4 5 6 7
7 6 5 4 | 6 7

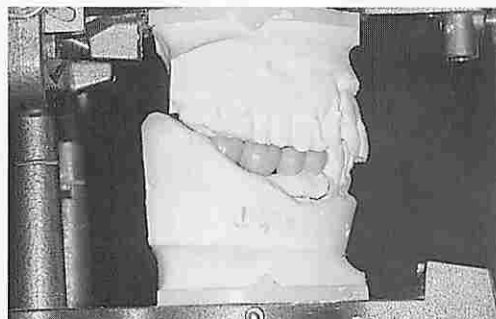
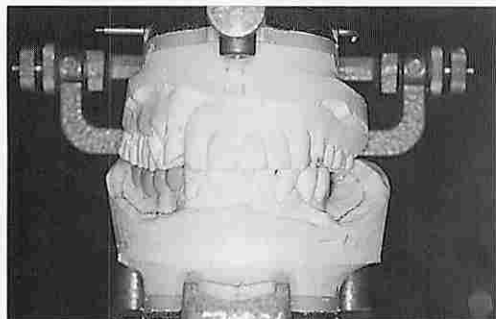
には2年半ほど前に当院で部分床義歯を作製し装着していた
しかし下顎義歯は違和感からほとんど使用されておらず、上顎義歯の破折を繰り返していた
下顎義歯を使用されてないため下顎残存歯で咀嚼をしていたことにより前歯部付近で上顎義歯の破折を繰り返したものと考えられる 残存歯にペリオの問題は無かった

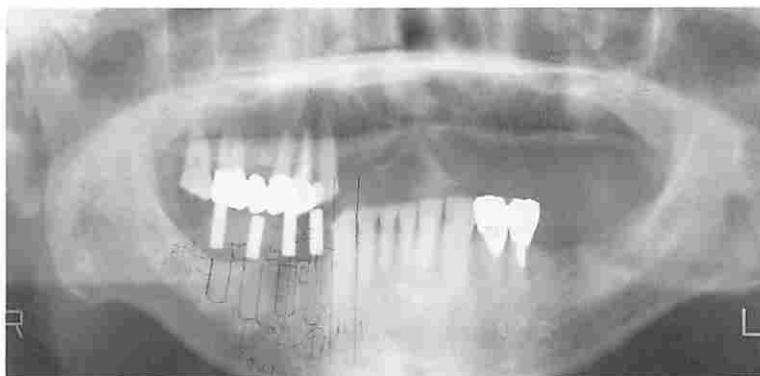
顎関節にも異常は認められなかった

顔貌はブラキオタイプで咬合力強い

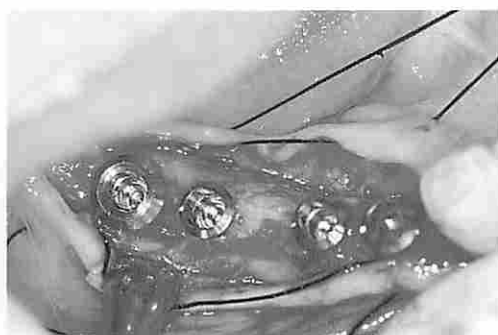


診査・診断 最初は右下臼歯部のみの希望であった





インプラント植立 H14. 9. 19



上部構造装着 H14. 12. 29



Study

右側のインプラント補綴終了後、上顎欠損部もインプラントによる補綴（しかも固定式補綴処置で）が可能であるか？

それがもし可能であるならば是非インプラントによる治療をしたいという要望があった

診査・診断

Restoration-driven implant placementの概念に基づいてインプラントの植立を行うわけではあるが

1. 固定式補綴処置（ブリッジ）が可能となる本数および位置にインプラントが植立できるか
 - a. インプラントが植立されるべき位置の決定と各部位の診査
〈骨および軟組織の状態〉
 - b. その中で骨の造成無しで理想的な植立が可能な部位は
2. 審美的要求度の高い前歯部での審美性が固定式で得られるか。顎堤の高さ、幅、歯肉の厚み、対咬関係、スマイル時の口唇の位置、残存前歯の歯頸線の位置との関係、切端の位置から予測される歯冠長径、欠損の幅径から予測される歯冠幅径

診査1



旧義歯を参考にした蠟義歯による診査



顔貌との関係も診査する

最初に治療目標となる顔貌と歯列・歯のポジションの決定



それにより適切なインプラントポジションが決定される



その位置における各々のポジションにおける軟・硬組織の診査

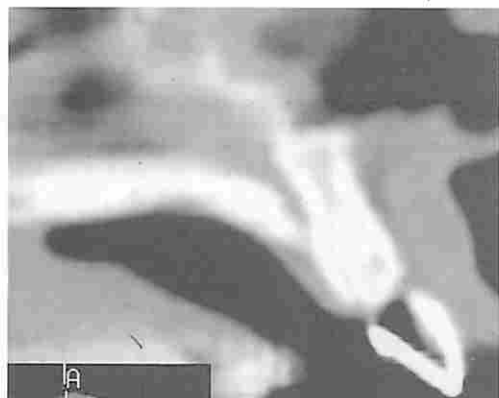


蠟義歯→診断用Wax-up→よりおこしたサージカルステント



パノラマによる診査

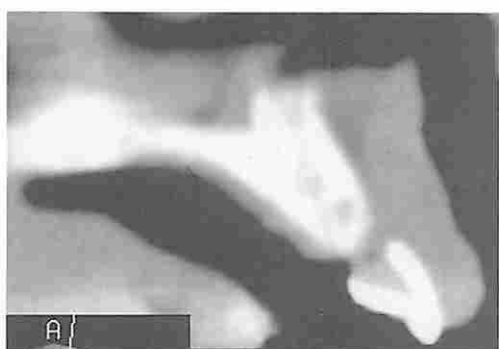
サージカルステントを用いて撮影したCT画像



1



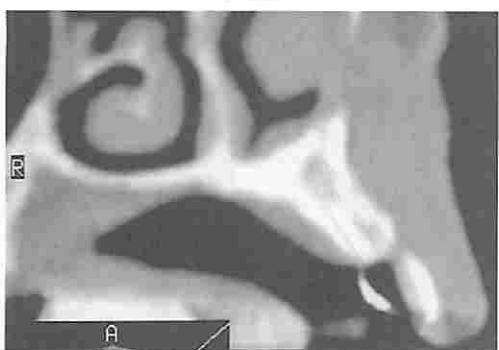
2



1



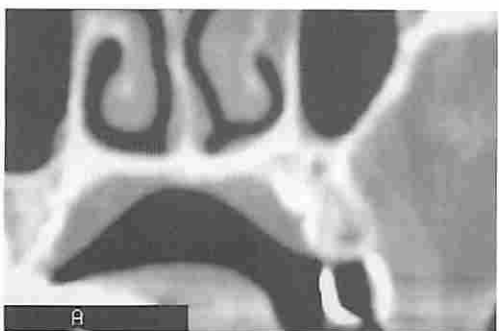
2



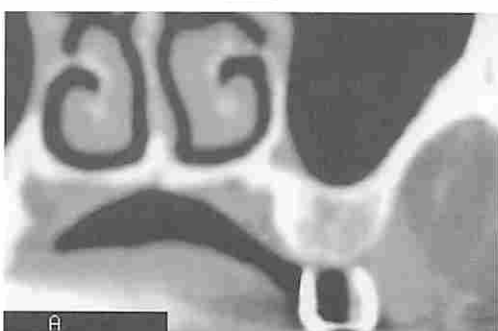
3



4



5



6

インプラント植立位置・方向・インプラント間距離・径の決定の原則

C. 頬舌的埋入位置



隣接面の唇面外形から2mm前後舌側に位置すべきである
(Saadoun, A. P., LeGall, M., Touati, B. : Selection and ideal tridimensional i

歯種	頬側近遠心径	CEJにおける近遠心径	CEJより2mm下方における近遠心径	CEJにおける頬舌径	推奨インプラント径
中切歯	8.6	6.4	5.5	6.4	4.1, 4.3, 5.0
側切歯	6.5	4.7	4.3	4.7	3.25, 3.5
犬歯	7.6	5.6	4.6	7.6	4.1, 4.3
第一小臼歯	7.1	4.8	4.2	8.2	4.1, 4.3
第二小臼歯	6.6	4.7	4.1	8.1	4.1, 4.3
第一大臼歯	10.4	7.9	7.0	10.7	4.1, 4.3, 5.0, 6.0
第二大臼歯	9.8	7.6	7.0	10.7	4.1, 4.3, 5.0, 6.0

この径よりも小さいフィクスチャーの選択が推奨される

(Saadoun, A. P., LeGall, M., Touati, B. : Selection and ideal tridimensional implant position for soft tissue aesthetics. JPAS 11 (3) : 1303-1312, 1999.2.4)

図3 適切なインプラントの埋入を行ううえでのインプラントの太さの選択基準 (単位:mm)

E. 傾斜的埋入方向



(Saadoun, A. P., LeGall, M., Touati, B. : Selection and ideal tridimensional implant position for soft tissue aesthetics. JPAS 11 (3) : 1303-1312, 1999.2.4)

A. 多数歯欠損におけるフィクスチャー間および天然歯との適正距離

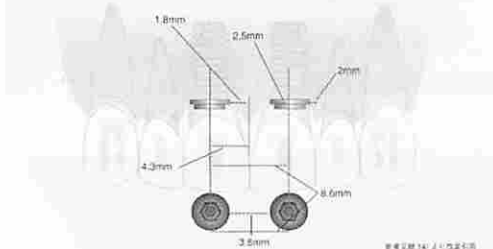


(Tanner, D. P., Choi, S. G., Williams, S. S. The effect of inter-implant distance on the height of inter-implant bone crest. J. Period. 79 (4) : 546-549, 2000.2.7)

診査1からの診断1



A. Dento-gingival complex を考慮したフィクスチャーの選択



骨量不足 14% 以下は不可

(単位:mm)

歯種	歯 冠 近遠心径	CEJにおける近遠心径	CEJより2mm下方における近遠心径	CEJにおける頬舌径	推奨インプラント径
中切歯	8.6	6.4	5.5	6.4	4.1, 4.3, 5.0
側切歯	6.5	4.7	4.3	4.7	3.25, 3.5
犬歯	7.6	5.6	4.6	7.6	4.1, 4.3
第一小臼歯	7.1	4.8	4.2	8.2	4.1, 4.3
第二小臼歯	6.6	4.7	4.1	8.1	4.1, 4.3
第一大臼歯	10.4	7.9	7.0	10.7	4.1, 4.3, 5.0, 6.0
第二大臼歯	9.8	7.6	7.0	10.7	4.1, 4.3, 5.0, 6.0

この径よりも小さいフィクスチャーの選択が推奨される

診断とインプラント植立計画

適切なインプラント径の選択を行えば

1 | 1 3 4 5 6 には骨の造成無しで、ほぼ理想的な位置に理想的な方向で植立可能であると診断した。

これによりインプラン植立本数、植立位置から固定式補綴装置による処置は可能と診断された。

2 | 2 はインプラントorポンティック?

2 | 2 はあえてGBRをしてインプラントを植立するよりも、2の軟組織の造成のみを行ってポンティックによる補綴処置を行った方が審美的に有利であると診断した。

さらに2| は延長ブリッジにするか、天然歯である3| を補綴して連結するかの計画をした。

1 | 1 4 5 部は審美的、生物学的に軟組織のボリュームを増した方がいいと思われたので二次オペ時に結合組織移植を予定した。

診査 2

固定式補綴処置は可能であると診断されたが同時に前歯部の審美性は獲得できるか？

顎堤の高さ、幅、歯肉の厚み、対咬関係、スマイル時の口唇の位置、残存前歯の歯頸線の位置との関係、切端の位置から予測される歯冠長径、欠損の幅径から予測される歯冠幅径等の診査



決定された最終補綴物



前歯部と顔貌の関係、軟組織のプロファイル正面・側貌



診断 2

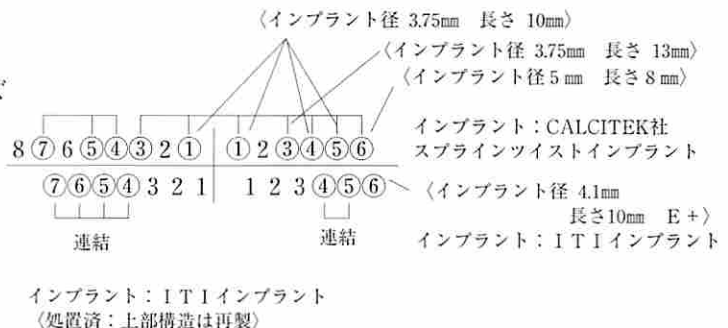
前歯部の審美性は？

インプラントを適正な位置、深さ、方向に植立できれば、目標とする歯冠形態および咬合関係、歯頸線の整合性適正なりップサポートが得られると診断した。

治療計画の立案

上顎インプラント植立→二次オペ→プロビジョナルレストレーション→歯周形成外科→⑦⑥⑤④ブリッジ除去→⑥インプラント植立→咬合の若干の挙上と顎位の最終確認→診断用wax-up→最終プロビジョナルレストレーション（右下上部構造も再作製）→③切端部ビルドアップ→最終補綴物

最終補綴設計とインプラントサイズ



(次号へ続く)

長寿の里 歯科診療所の参考文献集

田中 浩一



知る人ぞ知る桜の名所

介護保険導入の平成12年に着任して早くも4年がたちました。

長寿の里歯科診療所は、高齢者口腔の健康増進と地域住民の口腔管理を図るため平成9年に開設されました。しかしながら、介護保険の導入により対象者の減少や、厳しい熊本市の財政の中、また市民のニーズの変化などにより事業の見直しを、ということになり、平成17年3月閉鎖されることになりました。

長寿の里歯科診療所での日々の診療にあたり、参考にした書籍のサマリーです。

1、摂食・嚥下障害の評価法と食事指導

ISBN-263-44127-3 C3047 ¥3600 E 0

金子芳洋・他編

医歯薬出版

平成7年度から9年度にかけて実施された「厚生省・健康政策調査研究事業—個人の摂食能力に応じた『味わい』のある食事内容・指導

法に関する研究—」を加筆修正したもの。

ガイドラインとしての性格を持たせようとしている。

確定診断とスクリーニングの違いが良く理解出来た。平成15年度日本歯科医師会生涯研修DVDの藤田保健衛生大学の才藤栄一先生の部分の理解を助けた。

昭和大学衛生学教室系（向井先生；日本障害者歯科医学会理事長）の本。

2、摂食・嚥下機能評価マニュアル—医療面接から訓練計画立案まで

ISBN-263-21124-3 C3047 ¥3200E

Joseph Murray著 道 健一・他監訳

医歯薬出版

摂食・嚥下障害の評価法について医師・歯科医師以外の立場から記述されている。

前半は、専門医療機関以外でも行える、嚥下障害の有無を把握するための医療面接とスクリー

ニング検査について、後半は専門医療機関での確定診断のための検査法が詳述されている。摂食・嚥下障害の評価法の特徴と限界を把握するのに最適。

昭和大学第一口腔外科系の本。

3、摂食機能療法マニュアル

ISBN-263-211405-5 C3047 ¥4200E

道 健一監修

医歯薬出版

医学的な精査の結果、摂食・嚥下障害の診断を受けた中途障害の患者さんを対象とする摂食機能療法の実用書。嚥下器官運動検査を実施後、対応する摂食機能療法を行うことで、系統的で計画性のある機能訓練を行うことを企図している。

昭和大学第一口腔外科系の本。

余談ですが、口腔ケアの項を執筆した国立療養所中部病院歯科医長・角保徳先生が、小牧市民病院歯科口腔外科を開設する時、私は、横でジッと見ていました。顎間固定時のオーラルハイジーンについては特に御指導頂き、病棟の看護師さんを巻き込んだ口腔ケアに熱心に取り組んでおられました。ですから、口が開かない人の口腔ケアについて学ぶには最適な本であると考えます。

4、嚥下障害への対応と危機管理

—歯科口腔外科領域における嚥下リハビリテーションと安全管理—

ISBN-89605-192-0 C3047 ¥3600E 0

大井久美子長崎大学歯学部付属病院歯科麻酔科教授・他編著

口腔保健協会

主に高齢者（在宅患者、口腔癌手術後）の中途障害の摂食・嚥下障害を取り上げ、診断法、治療法、訓練法を呈示し、補綴的アプローチも紹介されている。

VF画像を収録したCD-ROMが添付されているので、繰り返し繰り返し見ることが出来る。向井先生；日本障害者歯科医学会理事長が「歯科麻酔を専門にする歯科医師が中心となって、

この本を上梓されたことは、この分野を学ぶ種々の医療職種にとってはまさに幸運と言える。」と推薦文を寄せている。

5、高齢者歯科ガイドブック

ISBN-263-44142-7 C3047 ¥7000E 0

植松 宏・稲葉 繁・渡辺 誠編集

医歯薬出版

その名の通り、2003年1月現在での「最新の」高齢者歯科診療のガイドブック。

地域の歯科診療所において、EBMに基づいた高齢者歯科診療を行う上での指針となる。幅広い掲載内容により、薬剤師・栄養士さんなど他職種とのコミュニケーションにも役立つ。巻末の文献一覧により、更なる情報収集が可能となる。

6、安心・安全な高齢者診療—かかりつけ歯科医に必要な対応—

ISBN-88510-914-0 C3047 ¥4400E

鈴木 章・佐野晴男・伊東隆利編集

デンタルダイヤモンド社

「かかりつけ歯科医やファミリーデンティストを目指すには、患者の高齢化に十分対応できる知識や二次医療機関との連携を視野に入れた診療体系を早急に取り入れる必要がある。」との編集方針に基づき、各執筆者が、「高齢者への安心・安全な歯科医療やQOLの向上を目指した歯科治療」について、注意点、その対応の実際を示している。

伊東隆利先生は、安心の高齢者医療・歯科で出来るQOLの向上に関して執筆され、コラムにて「人間ドックに歯科検診の導入を!!」と訴えておられる。

また、熊大・篠原教授の「口腔癌・前癌病変・その他の口腔疾患」の病態写真は、とても綺麗で、内容も理解しやすい。

7、EBMに基づいた口腔ケアのために（必読文献集）

ISBN4-263-46303-X C3047 ¥3800E 0

日本歯科医師会監修・静岡県歯科医師会編
医歯薬出版

口腔ケアの必要性を歯科以外の人々に知ってもらうための根拠を提出するために行われた、静岡県歯科医師会の作業の集大成。

全40編の文献は、口腔ケア（口腔清掃）の効果に関する文献、咀嚼に関する文献（摂食・嚥下機能に関する事項を含む）、高齢者のADL/QOLに関する文献の3分野で涉猟されている。要介護者と有床義歯の適応など、臨床に直結し、歯医者さんの心にもなる文献が目白押し。索引の参考書としても最適。

8、嚥下障害ポケットマニュアル第2版
ISBN4-263-21143-X C3047 ¥2000E 0
聖隷三方原病院嚥下チーム執筆
医歯薬出版

目の前の患者さんに、何をどうすれば良いかを踏まえ、聖隷三方原病院の嚥下セミナーテキストを念頭に出版された本。

チームの構成メンバーである執筆者一覧を眺めるだけでも、内容の豊富さが伝わってくる。中途障害での摂食・嚥下障害に取り組んでいると、おのずから、発達障害も勉強せざるを得ないことが理解できる。摂食・嚥下の参考書ととりあえず1冊と言う時に最適な、各専門領域のエッセンスが詰まった本。

9、老年医学テキスト
ISBN4-89553-647-5 C3047 ¥6500E
日本老年医学会編
メジカルビュー社

雑誌掲載の高齢者のADLを扱った論文の参考文献欄の常連とも言える本。平成9年発行で、介護保険の適用を睨んでの編集がされている。序言には、本書の利用法として、学会認定医資格取得のための手引き、教科書、研修医指導ガイダンスの他に、介護保険認定を行う医師の参考書、コメディカルの学習用手引きと謳われている。

介護支援専門員資格を持たない介護認定審査

会委員（私のことです）向けの参考書。

10、高齢者の生活機能評価ガイド
ISBN4-263-23205-4 C3047 ¥4300E 0
小澤利男・江藤文夫・高橋龍太郎編著
医歯薬出版

介護認定審査会出務に際して、手放せなくなった本。医師・看護師が、共通認識の涵養をする気も無く駆使する専門用語が良く理解できた。摂食・嚥下運動及び誤嚥の評価の項は、言語聴覚士（日本歯科医師会生涯研修DVDにも出演）が執筆しており、知識の整理に最適。

第Ⅶ章には、日本医師会の介護保険に対する立場が明記されていて興味深い。本書は、平成11年の出版である。購入した時点では、私が介護認定審査会に出務するなんて想像も出来なかった。

そもそも、この本の購入目的は、長寿の里歯科診療所の患者さんのADL評価を何とかしろとの菅原先生の御指示に答える資料にするためであった。結局、目的は果たせず、介護保険の介護度を指標としているが、①歯科診療と口腔ケアにおける介護度を比較すると、口腔ケア実施者の方が高い傾向を示した。②歯科治療と口腔ケアにおける、受け入れに必要なADLレベルには差があると推察される。③新たな歯科疾患の発生抑制による咬合状態の維持が、介護度の維持に関与していることが推察される。④長寿の里デイサービスセンターでの取り組みは、平成18年度に介護保険導入される口腔ケアに求められるサービスレベルを具現化しているものと考えられる。

11、リハビリテーションにおける評価Ver. 2
T1103298066099 Journal of Clinical Rehabilitation別冊
米本恭三・他編
医歯薬出版

咀嚼・食塊形成機能の評価法が確立されていないことが良く分かる1冊。当然リハビリテーションの方法も確立していないことを思い知ら

される。この本も10と同じ目的で購入したが、同じように介護認定審査会出務で重宝した。第IV章に診断書記入のポイントが記載されていて、主治医意見書の読み方を裏から理解することが出来た。

12、日常生活活動（動作）―評価と訓練の実際― 第3版

ISBN4-263-21060-3 C3047 ¥6650E 3

土屋弘吉・他編

医歯薬出版

ADLそれも、「している」ADLについて理解するのに最適な1冊。

初版が1978年、第3版も1992年と古い本で、介護保険の影響は見られない本だが、1992年、既にADLの社会的適応に保健・医療・福祉連携のキーワードとしての活用が挙げられている。本質的差違のある3者間の連携は、介護保険推進の精神そのものである。

患者さんを診療台に移乗させるときの具体的な参考書となった。

13、N-Books 4 嚥下リハビリテーションと口腔ケア

ISBN4-8392-1046-2

藤島一郎・藤谷順子編著

メヂカルフレンド社

ナース向けの本。分かりやすく、実践的である。最終章に、リハビリ用品やレトルトの嚥下食のカatalogとも言うべき項が設定されており、患者さんのニーズに答えることが出来る。付録として、患者向けパンフレットの雛型も付けられている等、丁寧な作りである。ナースとチームを組んで仕事をする場合の手引きともなりうる。

嚥下リハビリテーションと口腔ケアの有機的な連携を意識したアプローチを念頭に編集されており、摂食・嚥下障害に対してナースが実践の場でまず始めに行うことは口腔ケアではないかと専門医である編著者は考えているようだ。

14、脳卒中の摂食・嚥下障害第2版

ISBN4-263-21920-1 C3047 ¥4600E 0

藤島一郎著

医歯薬出版

No.8よりも先に出版された聖隷三方原病院のコメディカル向けの講義録から発展した教科書。摂食・嚥下障害の啓発・普及のため、スクリーニングのみでもリハビリテーションを始めそうな勢いが感じられる。この勢いをかって、施設が充実し、確定診断も普及したものと思われる。「はじめに」「第1版の序」「第2版の序」をしっかり読んでから順序良く読破すると、小説を読むように理解が進む。

この本は、私が着任した時、既に購入してありました。前任者もしっかり読み込んだようです。

15、介護認定審査会委員補訂版ハンドブック

ISBN4-263-23211-9 C3047 ¥3600E 0

遠藤英俊・見平 隆・青柳公夫編集

医歯薬出版

介護認定審査会に出務することになり、慌てふためいて買って貰った本。

40歳から65歳までの第2号被保険者が介護保険を使おうとする場合、特定疾病に該当する必要があるが、それらを理解・整理するのに便利だった本。

県内でも自治体により、判定資料の形式が微妙に異なるようで、介護認定審査会委員研修会に参加してから実際の介護認定審査会に出務するべきと考える。

16、完全図解 新しい介護

ISBN4-06-259351-3 C2074 ¥3800E

大田仁史・三好春樹監修

講談社

合築されている長寿の里デイサービスセンターの職員間の共通認識涵養の為に、まとめて購入すると言うことで、歯科診療所にも声がかかって購入を決めた本。

帯の「介護技術の決定版・介護のプロも目からウロコ・家庭介護もこれで安心・力まかせの

介護から心とワザの介護へ」が全てを物語っている。

利用者の人の障害の背景まで理解しやすく、患者さんの診療台への移乗の場合などの参考になった。

デイサービスセンター職員は、色々な職種の人から構成されていて、教育畑の人、看護師、福祉畑の人、いわゆる畑違いから来た人まで様々であり、共通認識の涵養が重要な懸案となるようです。介護のプロって何でしょう？

17、女性のためのオーラルケア

ISBN4-901894-08-C C3047E ¥8500E

砂書房

男女の違いは、口腔の健康にも様々な形で反映するので、歯科口腔疾患とその予防・治療について、女性医療の視点でまとめられた本。

長寿の里歯科診療所では、患者さんの8割が女性で、骨粗しょう症の患者さんも散見されることから購入した。見開きに編集されたイラストが説明に最適であり、客観性を持って説明できるので説得力が増す。義歯と骨粗しょう症の関係のページは、特に有用だった。

18、日本におけるフッ化物製剤（第6版）

ISBN4-89605-184-X C3047 ¥1200E

NPO法人 日本むし歯予防フッ素推進会議編

口腔保健協会

長寿の里デイサービスセンター利用者へのサービスとして行っている昼食後の口腔ケアに何とか課金できないものかと考え、その資料にすべく購入した。高齢者においては、フッ化物塗布は保険適応ではないため、長寿の里歯科診療所においては実施できず、課金も断念した。口腔ケアそのものは、フッ化物塗布の有無に関わらず、仕事・業務としては評価されるべきと考えている。ブラックコントロールレコード10%以下の達成は、プロのなせる技と言える。

19、特定化学物質等作業主任者テキスト

ISBN4-8059-0742-8 C3043 ¥1600E

厚生労働省化学物質調査課編

中央労働災害防止協会

エチレンオキシドガス滅菌器運用のため、資格取得講習テキストとして購入した。

講習会講師の「宇土合成」の人の話は興味深かった。

「今の高齢者は、この教科書に載っているような変なものに触れていないから長生きなのかもしれない。」エビデンスは如何なのでしょう？

20、歯科矯正治療保険請求ガイド

ISBN4-263-44161-3 C3047 ¥3800E 0

歯科矯正保険研究会編

医歯薬出版

1982年、唇顎口蓋裂に起因した咬合異常の矯正治療、

1996年、顎変形症の手術前後の矯正治療、

2002年、第一・第二鰓弓症候群、鎖骨頭蓋異骨症、Crouzon症候群、Treacher-Collins症候群、Pierre Robin症候群、Down症候群に起因した咬合異常の矯正治療が保険導入された。指定医療機関の認定が必要。公的医療機関に勤務する歯科医師の「資格」について再考した。適材の配置が望ましい。

21、痴呆と歯科診療—患者さんのQOLを支えるために—

ISBN4-263-44157-5 C3047 ¥7400E 0

青柳公夫・他編

医歯薬出版

2025年には、65歳以上人口における10%に達する（実数としては、現在の2倍）ことが予想される痴呆性高齢者への歯科的対応を記した本。

痴呆の分類と医科的対応、患者および家族の心理についてまとめ、歯科医師がそういう患者さんに接する時の理念を伝えた上で、具体的な治療や口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーション

ンについてまとめられている。

札幌市西円山病院の藤本篤士先生が執筆している加齢と栄養の項で、症例数633を以って、「義歯を使用できるかできないかのターニングポイントは、摂食可能な食物形態をメルクマル；指標とすると超刻みかミキサー食のあたりにありそうだと推定している。

7、で紹介したEBMに基づいた口腔ケアのために（必読文献集）に収載されている、小柴慶一、小笠原正、野村圭子、太田慎吾、渡辺達夫、笠原浩（松本歯科大学障害者歯科学講座）：要介護者における有床義歯の適応に関する研究。老年歯科医学 第10巻3号1996年と比較しても興味深い。

有床義歯の使用に関与しているのは、「着衣の自立」、ついで、「長谷川式簡易痴呆スケールにて11点以上」というものである。

長寿の里歯科診療所では、これに加え、症例数200+約50の事例を以って、「口腔ケアの適応は、名前が言えれば、即ち長谷川式簡易痴呆スケールにて点数が1点でもあれば適応である」と推定して日常業務を行ってきた。口腔ケアを介護予防の観点から捉え、待機的な治療として推進した。治療に入る前には、本人・介護者に対して、診断時に、予想される事態を文書で説明し、同意を得ることに努めてきた。

摂食可能な食形態に反映される咀嚼力・食塊形成能力を指標とした有床義歯の適応に言及した研究を視野に入れて、さらに、デイサービスセンター厨房と検討を加え、エビデンスの確立に努めたい。

藤本先生は、雑誌歯科衛生士別冊「もっと知りたい義歯のこと」も共同執筆されている。歯科衛生士という人達が、義歯のことを知らないのは歯科医師の責任と考えるが、医師・保健師・看護師・ケアマネージャーと言う人達が義歯の事を知らないと、適切なケアプランの作成に支障を来すことが考えられるので、更なる共通認識の涵養が必要であると考え。高齢者の栄養摂取の方法については、医科歯科の間で見解の相違があってはならないと考える。

個人的な主張としては、「介護保険上の通所施設利用と同日にかかりつけ医以外の診療所を受診するにあたり、その通所施設の車両・人員をもって、通院のための便宜を供与したとしても、通所施設は、その責任を完遂したと評価すべきである」言い換えると、デイサービス利用者が、利用日に歯科診療所を受診したい時は、それを認める。帰宅途中で受診したい希望がある場合は、歯科診療所に送致した時点でデイサービス業務を完了したとする」という解釈を国レベルで成立させて欲しい。

眼科や耳鼻科など、「（介護保険上の）かかりつけ医には、間違ってもならないが、高齢者がお得意さん」という先生方の支持も得られると考える。

以下は、無料で貰ったが、日常業務に役立っている本を並べてみます。

1、日常会話医療用語集改訂第6版

ISBN4-89587-107-X C3047

清水直容監修

株式会社ミクス

三共のMRさんから貰った本。介護認定審査会資料の事前「精読」、診療情報提供書の「解読」に際して、ポケットメディカル辞書を引く前に欠かせない。

2、平成12年度厚生科学研究補助金（長寿科学研究事業）高齢者における口腔ケアのシステム化に関する総合的研究 研究報告書

主任研究者

国立療養所中部病院 歯科医長 角 保徳
分担研究者

国立療養所中部病院 長寿医療研究センター
老人支援機器開発部看護・

介護機器開発室長 中嶋一樹
東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科
口腔老化制御学分野教授 植松 宏
東京リハビリテーション病院歯科
医員 永長周一郎

愛知医科大学医学部第二病理学教室

助教授

宮石 理

読み代えれば、口腔ケアのエビデンスを積み重ねるための研究。口腔ケアを如何に評価するか、病院歯科外来の立場から研究されている。ともすると、口腔ケアは急性期病院を中心に語られるが、介護予防の観点から、外来受診が可能な「要介護者」の口腔ケアの指針となりうる

と考える。長寿の里歯科診療所の病診連携の中での位置付けを考えさせられた。平成13年12月、口腔科学会九州地方会で、長寿の里歯科診療所の臨床統計を発表したが、そのことを角先生に報告したら、送付されてきた本。

口腔ケア外来；外来受診できる人の口腔ケアについて考えることで、地域医療の中の口腔ケアについて考えることになった。

僕が自腹（公称85cm）で買った本

高齢者ソフト食—安全でおいしい介護食レシピ—

黒田留美子著

厚生科学研究所 ISBN4-905690-74-9 C3077

その名の通り、高齢者にやさしい、安全でおいしい食事のための新しいメニューの解説書。

3章に分かれ、第1章は、高齢者ソフト食開発までの経緯および摂食・嚥下機能、栄養アセスメントの方法の解説（！）、第2章にレシピの実際、第3章に具体的な献立表を掲載している。

高齢者ソフト食を機能障害の観点から見ると、正常、咀嚼障害、食塊形成障害までをカバーできる食形態で、咽頭への送り込みから嚥下機能に障害がある場合は、適応とはならず、いわゆるゼラチンゼリーを中心とする嚥下食の適応となる。二枚舌の歯医者は散見されるが、障害を受けた舌をリハビリ無しに機能回復できる医者には会ったことが無いことが本書を読み進める原動力となった。

「はじめに」から読むべきだが、せめて19ページだけは読んでから人に勧めたい。26ページから先は、小学校の時の家庭科の教科書を思い出して楽しい。

障害は辛いものである。はっきり第三者に訴えることが出来ても辛いものである。はっきり伝えられなければ、もっと辛いのだという想像力は働かせるべきである。

「かんじゃさん」とのコミュニケーションの虎の巻に最適な1冊。

新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 わたなべ さとし 渡邊 諭
 診療所名 エクセル歯科医院
 (診療所) 熊本市田迎3-2-1
 電 話 / 096-379-1717 F A X / 096-379-8020
 (自 宅) 熊本市楡木4-20-33 B-1
 電 話 / 096-337-4984 F A X / 096-337-4984
 生年月日 昭和42年 6 月 5 日
 趣 味 アウトドア・つり
 好きな言葉 有言実行
 経 歴 鹿児島県立錦江湾高等学校卒業
 平成 5 年 九州大学卒業
 伊藤歯科10年勤務
 平成15年 開業



氏 名 あきやま きよし 秋山 清
 診療所名 秋山歯科クリニック
 (診療所) 熊本市下通 1 丁目7-27-2F
 電 話 / 096-352-5454 F A X / 096-352-5454
 (自 宅) 熊本市坪井 2 丁目10-10-702
 電 話 / 096-345-1846 F A X / 096-345-1846
 生年月日 昭和38年 3 月 2 日
 趣 味 ゴルフ、パチンコ、ロック (ビートルズ)、
 カラオケ (サザン)
 好きな言葉 誠意
 経 歴 九州学院卒業
 昭和62年 大阪歯科大学卒業
 秋山歯科診療所16年間勤務



スポーツの広場



あつまるデンタルゴルフ会

4月25日		14名				
		O	I	G	H	N
優勝	大森秀則	42	46	88	21	67
2位	宮崎幸一	44	40	84	15	69
3位	七川洋二	47	42	89	18	71
4位	木村洋一	46	44	90	18	72
5位	森一夫	45	50	95	20	75
B・B	本田治夫	57	52	109	17	92

5月23日		16名				
		O	I	G	H	N
優勝	安田光則	44	40	84	14	70
2位	河野敬明	49	43	92	17	75
3位	木村洋	49	45	94	18	76
4位	北川隆之	39	48	87	10	77
5位	合沢康生	45	48	93	16	77
B・B	本田治夫	58	53	111	17	94

6月27日		14名				
		O	I	G	H	N
優勝	奈良健一	42	40	82	10	72
2位	古賀明	42	39	81	9	72
3位	河野敬明	43	47	90	17	73
4位	宮崎幸一	42	44	86	12	74
5位	山室紀雄	46	44	90	14	76
B・B	寺島美史	61	55	116	30	86

熊本デンタル

4月25日 熊本空港カントリークラブ		13名				
		O	I	G	H	N
優勝	渡辺博	43	35	78	7	71
2位	稲葉逸郎	38	44	82	5	77
3位	松本光示	41	41	82	4	78
4位	甲斐利博	43	43	86	7	79
5位	大嶋健一	43	45	88	8	80
B.B.	添島正和	52	48	100	14	86

6月13日 熊本空港カントリークラブ		12名				
		O	I	G	H	N
優勝	稲葉逸郎	39	39	78	5	73
2位	内田隆	46	41	87	12	75
3位	元島博信	44	47	91	15	76
4位	中島義和	40	41	81	5	76
5位	工藤隆弘	45	45	90	12	78
B.B.	坂梨常太郎	46	54	100	13	87

7月25日 南阿蘇カントリークラブ		13名				
		O	I	G	H	N
優勝	元島博信	41	41	82	16	66
2位	工藤隆弘	41	39	80	13	67
3位	中島義和	35	40	75	5	70
4位	松本光示	37	39	76	5	71
5位	甲斐利博	41	39	80	8	72
B.B.	坂梨常太郎	53	51	104	15	89

空港デンタルは行ってません

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
4 月23日	第185回理事会 (会務、庶務、会計)
5 月25日	第186回理事会 (会務、庶務、会計)
6 月21日	第187回理事会 (会務、庶務、会計)
7 月27日	第188回理事会 (会務、庶務、会計)

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月13日	講演会について (平成16年度)
6 月10日	ホームページ記載内容の変更について ホームページの修正について
7 月15日	講演会について エンドセミナーについて ホームページ内容の確認 11月13日のセミナーの講師選定

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月22日	第 1 回熊本市学校保健会理事会報告
6 月 2 日	平成16年度歯磨き巡回指導 (前期) の実施計画に伴う委員会出務計画 歯磨き巡回指導 (前期) 出務確認 学校歯科医の研修について
7 月14日	平成16年度歯磨き巡回指導報告 (前期) 熊本市健康フェスティバル出務計画

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月22日	かわら版 5 月号編集 中岳125号目次作成
5 月 7 日	中岳125号レイアウト
5 月17日	中岳125号第 1 回校正
5 月26日	中岳125号第 2 回校正
6 月23日	かわら版 6 月号編集 中岳125号反省会 かわら版 7 月号編集

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月 27 日	保健所の立ち入りについて
5 月 20 日	放射線漏洩測定器の貸出しについて
	三齒会について
5 月 26 日	医療相談について
6 月 12 日	三齒会開催について
	スタッフセミナー反省
	国立病院との協議会について
7 月 1 日	三齒会の協議内容について
7 月 22 日	医療相談について
7 月 29 日	三齒会

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月 26 日	社保点数改正説明会の準備 (配布資料のチェック修正)
4 月 27 日	社保点数改正説明会及び説明会后個別の質疑応答
5 月 28 日	改善指摘事項の検討
	フッ素塗布について
6 月 23 日	各郡市社保担当者会議の報告
	最近の審査事例の検討
7 月 21 日	平成16年度集团的個別指導資料(レセプト例)の検討

公 衆 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月 22 日	上通りイベントについて
5 月 20 日	上通りイベントについて
	熊本市子ども文化会館での無料健診について
6 月 24 日	上通りイベントの反省会とアンケート集計
	フッ素塗布について
	来年度の計画について

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月 12 日	ビアパーティについて
6 月 11 日	〃
7 月 2 日	〃

編 集 後 記

アテネオリンピックで連日、派手な写真が新聞紙面を飾っています。「前人未到」のメダルラッシュなのですから。特に、夕刊は紙面を贅沢に使ったレイアウト。これは、参考にしなくては……なるほど、結果の記録だけではなくて、こういう切り口の取材もおもしろいのね……などなど一応、広報委員の視点で、記事を読んでいます（笑）。というわけで、金メダル級のみなさまのご寄稿をお待ちしております。

(M. T)

熊本市歯科医師会会誌

第 126 号

発行日 平成16年 9 月15日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井 2 丁目 3 番 6 号

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>

[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)

TEL (3 4 3) 6 6 6 9

FAX (3 4 4) 9 7 7 8

発行
責任者 古 賀 明

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木 3 丁目12-37

TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294